

7日中経業第13号
2025年4月25日

各位

一般財団法人日中経済協会
理事長 佐々木 伸彦

日中経済協会「第2回中国自動運転考察ミッション」参加御案内

謹啓 時下ますます御清祥の事とお慶び申し上げます。

当協会の事業活動におきましては、平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では地域・テーマ別の日中交流を重点事業としており、その一環として昨年12月に上海・蘇州・武漢への「第1回中国自動運転考察ミッション」を実施しました。それが好評を博したことを受け、「第2回中国自動運転考察ミッション」を計画しております。

自動運転技術を巡る、世界的な開発競争が一段と激化するなか、AI技術の実装やスマートシティとの連携で世界の最先端を行く中国の取り組みを理解することを目的に、自動車産業が集積し、次世代モビリティの実用化も進む広州と、ハイテク企業が集積する深圳の主要拠点を訪問する予定です。各市の最新技術や実証実験の現場視察に加え、現地キーパーソンとの直接対話の機会を設け、中国における自動運転の社会実装に向けた戦略や課題について、参加者の皆様と共に理解を深めてまいりたく存じます。

当協会と致しましても、今後のビジネス展開において重要性を増す中国・自動運転分野での新たなビジネスの発掘と、人的ネットワークの構築に寄与できることを願っておりますので、本ミッションへの御参加につき、是非御検討下さりますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 程：2025年7月6日（日）～9日（水） ※活動内容は**別紙1**を御参照下さい。
2. 訪問先：広東省広州市～深圳市～汕尾市（深汕特別合作区）
3. 主 催：一般財団法人日中経済協会
4. 規 模：最少催行15名～最大30名 ※当協会は、理事長・佐々木伸彦が参加予定です。
5. 案内先：当協会賛助会員ほか。中国現地からの御参加も歓迎いたします。
6. 費 用：**別紙2**を御参照下さい。
7. 申し込みサイト：<https://jcpage.jp/jcevent/op/406>（〆切：6月6日（金））
※参加申込後の登録内容確認メールに、企業概要・団員自己紹介文、顔写真、パスポート（身分証）コピー等、提出物のお願いを記載しております。
8. 御問い合わせ：日中経済協会業務部（担当：澤津）
TEL：03-5545-3113 e-mail：naoya.sawazu[at]jc-web.or.jp ※[at]は@に変換下さい。

本ミッションの派遣前ブリーフィングを兼ねたオンラインセミナーを、5月14日（水）に開催いたします。どなたでも無料にて視聴いただけます。委細は別添資料を御参照下さい。

日程（案）

※以下に沿って手配を進めておりますが、案内時点で調整中の事項が多く含まれます。

7月6日 (日)	09:10→13:05 14:00～16:30 17:00 18:00～20:00	羽田→広州 (NH923) 小馬智行 (Pony.ai) ロボタクでホテルへ移動 ホテルチェックイン ※現地参加者集合 結団式 (広州総領事館、ジェトロ広州事務所との交流)	広州花園酒店 広州市越秀区環市東路368号 TEL: 020-8333-8989
7月7日 (月)	08:30 09:00～10:00 10:30～12:00 12:30～13:30 13:30～14:00 15:00～16:30 18:00～20:30	ホテルチェックアウト、出発 小鵬 (Xpeng) 訪問 文遠知行 (WeRide) 訪問、自動運転車試乗 団内昼食 广汽豊田南沙工場見学 小馬智行 (Pony ai) 訪問 深圳市政府関係者との交流想定	前海服務公寓 深圳市南山区前海深港合作区 南山街道金融街3号 TEL: 0755-8898-6999
7月8日 (火)	08:00 08:30～09:30 10:00～11:00 11:30～14:30 15:00～15:30 15:30～17:30 17:30→19:00 19:00～20:30	ホテルチェックアウト 速騰聚創科技 (RoboSense) 訪問 安途智行科技 (AutoX) 訪問、自動運転車試乗 華為技術坂田キャンパス訪問、ワーキングランチ (含: 隣接する賽力斯と華為のEVブランド「問界」ディーラー見学) 蘿蔔快跑 (百度Apollo Go) ロボタク試乗 訪問先調整中 (美团、滴滴等) 深圳市→汕尾市 (深汕特別合作区) 団内夕食 (汕尾市内)	深圳深汕特別合作区万楓酒店 汕尾市海豊県深汕特別合作区 鵝埠鎮創元路 TEL: 0755-2209-5888
7月9日 (水)	08:30 09:00～10:30 11:00～12:00 12:15～13:00 13:00→15:00 17:00→22:20	ホテルチェックアウト、出発 格林美EVバッテリーリサイクル工場見学 BYD (深汕合作区) 工場見学 団内昼食・解団式 汕尾市→深圳空港 深圳→羽田 (NH966)	

参加経費について

原則として現地集合、現地解散とします（広州白雲国際空港集合・深圳宝安国際空港解散）

- **共通経費：** ※日中経済協会東京本部より円建てによる事後請求となります。
 - ✓ 団体バス代
 - ✓ 通訳代（謝金、旅費）
 - ✓ 旅行ガイド代
 - ✓ 事務局雑費・管理費・一部人件費
 - ✓ 食事代
- 18～21 万円**
- ※実際経費に基づき御請求申し上げます
 ※日中経済協会賛助会員は請求額から3万円/人を御値引き致します
 ※原則途中の合流・離団に伴う減額はございません
- **参加者自己負担：** ※上記共通経費とは別途です。
 - ✓ 宿泊費（広州、深圳、汕尾各市内1泊）
 ※チェックアウト時に自己精算ください。
 - ✓ 国際・国内航空運賃（①羽田→広州、②深圳→羽田）
 ※事務局手配の場合、日本の本団指定旅行社より円建てによる事後請求となります。

● 経費概算：

ホテル※1	7月6日泊 広州花園酒店	740 元/泊
	7月7日泊 前海服務公寓	446 元/泊
	7月8日泊 深圳深汕特別合作区万楓酒店	380 元/泊
フライト (国際) ※2	7月6日 羽田→広州 (NH923)	283,360 円 C席 121,360 円 Y席
	7月9日 深圳→羽田 (NH966)	
※C席・Y席ともに、発券後の変更・取消は有料で可の参考価格です。		
食事	昼（飲物別概算）	3,000 円/人
	夕（同上）	6,000 円/人

※1：各ホテルは、チェックアウト時自己精算をお願いします。すべて朝食付きです。

※2：フライトには羽田空港施設使用料、国際観光旅客税、航空保険料、燃油特別付加運賃、中国空港諸税、発券手数料込みです。今後の空席状況次第で料金変動の可能性があります。

● 本団指定旅行社：

日新航空サービス株式会社 日中平和観光事業室（担当：松本様）

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー10階

TEL: 03-5358-1809 e-mail: k-matsumoto[at]nissin-trvl.co.jp ※[at]は@に変換下さい。

参考資料 第2回中国自動運転考察ミッション派遣にあたって

1. 事前オンラインセミナーの御案内（※要・事前申し込み）

参加検討の御参考に、本ミッションの派遣前ブリーフィングを兼ねたセミナーを実施します。

◇ 日時：5月14日（水）日本時間 14:30～16:00／中国時間 13:30～15:00（Zoom 使用）

◇ 講師及び内容： ※すべて日本語で進行

・ 有田 直矢 上海萊彌信息諮詢有限公司（insights・インサイト）顧問

1974年、東京都生まれ。日本大学国際関係学部卒業後、南京大学大学院に留学、修士号取得。帰国後、2000年にサーチナ入社、2011年社長に就任。その後、上海に赴任。2014年、すべての職を離れ、株式会社NMS設立。2017年5月から旧上海サーチナである、中国調査専門のインサイト顧問就任。

・ 内容（予定）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1) 中国の自動運転、どこまで来ているか | 4) この先、主導権を握るのは？ |
| 2) 技術的には、もはや“同等” | 5) 注目すべき「量産メーカー3社」 |
| 3) それでも“ロボタク試乗”が意味を持つ理由 | 6) 現地で見るとすべきポイント |

◇ 視聴申し込み方法：下記に氏名、所属等を御登録下さい（〆切：5月12日（月））

👉 <https://jcpage.jp/jcevent/op/407>

☆ Zoom URL はセミナー前日にお申し込みメール宛てに送付いたします。

☆ 本セミナーは、ミッション参加に関係なく、どなたでも無料にて視聴いただけます。

2. 本ミッションの行程図



3. 訪問・交流先の概要（スケジュール順）

- **小馬智行 (Pony ai)**

Google と百度出身の創業者 2 人が 2016 年に設立したスタートアップで、トヨタ自動車が出資していることでも知られる。2022 年に北京、広州両市で取得した無人運転ライセンスによってロボタクを本格展開し、商業運行を拡大中。

- **小鹏 (Xpeng)**

2015 年設立の EV メーカーで、上海蔚来汽車や理想汽車と並ぶ新興 EV 御三家と称される。高速充電や AI 導入による自動運転に強みを持つ。2023 年売上高は 307 億元（2020 年の約 5 倍）と成長を遂げる一方、利益では赤字継続中。2023 年生産台数は約 14 万台。

- **文遠知行 (WeRide)**

2017 年にシリコンバレーで創業後、公道実験で優位な広州へ移転。日産・三菱自動車・ルノー連合等からも出資を受けている。2019 年からロボタクの試験運用を開始。現在、中国、米国、UAE、シンガポールで自動走行ライセンスを取得済。

- **广汽豊田汽車 (南沙工場)**

2004 年設立、2006 年生産開始。生産車種はカムリ、ヤリス、bZ4X など。生産開始当初は CKD 生産方式（部品を第三国から輸入して中国で組み立て）で原価の高さが課題であったが、現在は現地調達率を高め、ロボット導入など自動化も進んでいる。

- **蘿蔔快跑 (百度 Apollo Go)**

「Apollo Go」は百度が 2021 年に発表した自動運転プラットフォームで、既に中国国内 11 都市で試験運転が始まっている。既に北京、武漢、重慶、深圳、上海の 5 都市では完全無人自動運転サービスが開始され、正式に商用化されている。

- **速騰聚創科技 (RoboSense)**

2014 年にハルビン工業大学の 3 人の博士によって設立。「自動運転の目」と称され、レーザーを使って周囲を認識するセンサー「LiDAR (ライダー)」のトップメーカー。競合の禾賽科技（上海）とともに 200 ドルを切る車載 LiDAR で価格攻勢を仕掛けている。

- **華為技術 (Huawei)**

高いブランド力を武器に、中国自動車メーカーとの提携を通じて、高精度地図に頼らない自動運転システムの導入で攻勢中。BYD は、高級 EV ブランド「方程豹」に華為のシステムが導入され、賽力斯 (Seres) との共同ブランド「AITO」にも採用されている。

- **安途智行科技 (AutoX)**

2016 年にシリコンバレーで創業した自動運転 AI プラットフォーム開発を手掛ける有力スタートアップ。2021 年 4 月にホンダと自動運転分野における提携を発表。全ての車両に同じセンサーとハードウェアを搭載。

- **格林美 (GEM)**

2001 年設立のリサイクル大手。主要事業は、廃棄資源総合利用と新エネ。前者は、廃バッテリー、廃車、廃プラ、ニッケル、コバルト、リチウム、タングステンといった資源の再利用、金、銀、プラチナ、バラジウムといった希少資源や再製造等を手がける。

- **比亞迪 (BYD)**

1995 年に深圳でバッテリーメーカーとして設立、2003 年に自動車産業に参入以来、新エネ車のトップメーカーとして君臨。2024 年の売上高は前年比 29% 増の 7,771 億元（約 17 兆円）、総販売台数（電動バス等も含む）は前年比 41.3% 増の 427.2 万台。

4. 前回（第1回）中国自動運転考察ミッションの派遣報告 [下線クリックで詳細表示](#)

- ✓ [『中国イノベーション最新事情：中国自動運転考察ミッションに参加して見えたこと』、松下聡・日中経済協会副会長／三菱電機グローバルチーフアドバイザー『日中経協ジャーナル（2025年3月号／通巻374号）』寄稿記事](#)
- ✓ [『中国自動運転体験記』、佐々木伸彦・日中経済協会理事長『日中経協ジャーナル（2025年5月号／通巻376号）』寄稿記事](#)
- ✓ [訪問先ごとの交流概要や活動写真など（日中経済協会ウェブサイト）](#)

時 期：2024年12月3日（火）～7日（土）〔5日間〕

訪問先：上海市、江蘇省蘇州市、湖北省武漢市

参加者：当協会理事長・佐々木伸彦を団長に、メーカー、銀行、団体等11社21名で構成

日 程：

第1日：羽田→上海浦東

上海浦東金橋開発区：Pony.ai ロボタク試乗、華為 ICV 展示庁見学等

第2日：上海国際汽車城：無人清掃車メーカー・COWA 訪問、EV メーカー・NIO 訪問等

第3日：蘇州高鉄新城：日産出行・住友ゴムとの交流、自動運転システム・Momenta 訪問等
蘇州→武漢

第4日：武漢経済技術開発区：百度 Apollo Go ロボタク試乗等

第5日：武漢→成田

5. 参考リンク集：日中経済協会の情報発信 [下線クリックで詳細表示](#)

◆「自動運転に関する日中官民合同セミナー」開催報告と配布資料

- ✓ [第4回（2023年3月・オンライン）](#)
- ✓ [第3回（2022年2月・オンライン）](#)
- ✓ [第2回（2019年3月・北京）『日中経協ジャーナル』2020年2月号／通巻313号](#)

◆「日中省エネルギー・環境総合フォーラム」各回分科会の配布資料

- ✓ [第17回：自動車の電動化・スマート化分科会（2024年11月・東京）](#)
- ✓ [第16回：自動車の電動化・スマート化分科会（2023年2月・オンライン）](#)
- ✓ [第15回：自動車の電動化・スマート化分科会（2021年12月・オンライン）](#)
- ✓ [第14回：自動車の電動化・スマート化分科会（2020年12月・オンライン）](#)
- ✓ [第13回：自動車の電動化・スマート化分科会（2019年12月・東京）](#)
- ✓ [第12回：自動車の電動化・スマート化分科会（2018年11月・北京）](#)
- ✓ [第11回：自動車の知能化・電動化分科会（2017年12月・東京）](#)

◆『日中経協ジャーナル』のスペシャルレポート

- ✓ [中国モビリティ 2023（2023年7月号／通巻354号）](#)
- ✓ [中国のモビリティ情勢と未来へのビジョン（2022年8月号／通巻343号）](#)
- ✓ [中国自動車産業の最新動向（2020年7月号／通巻318号）](#)
- ✓ [CASEを中心とした日中自動車産業の展望と課題（2019年6月号／通巻305号）](#)

以上